



理事紹介①



NPO 法人暮らしネット・えんは役員として理事13名、監事2名による理事会が構成されています。

今回は、今年度(令和7年度)新任された4名の新理事をご紹介します。

田口 裕貴 (社会保険労務士田口裕貴事務所 所長)

今年度から理事を拝命することになりました、田口裕貴と申します。前期 2 年は監事を務めておりました。普段は社会保険労務士として、主に障害福祉・介護の事業所に関わるとともに、春日部市でNPO法人を立ち上げ、居宅介護(訪問サービス)、重症心身障害児を主たる対象とした放課後等デイサービスの運営に関わっています。

さて、皆さんご承知の通り、昨今の報酬改定等により、介護保険を取り巻く環境は極めて厳しいものとなっています。特に、訪問介護をはじめとする在宅支援は、介護保険・地域包括ケアシステムの要であるにもかかわらず崩壊の危機に瀕しており、ただただ「地域で暮らし続ける」だけのこと自体が難しい世の中になってしまいました。この現状に対して、いかにして立ち向かうのか、福祉職としての矜持が問われているような気がしています。私自身も、微力ながら、この現状に抗うべく、えんの理事として関わらせていただければと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。」

西野 裕哉 (株式会社隣家 代表取締役)

このたび、認定 NPO 法人暮らしネット・えんの理事を務めさせていただくことになりました西野裕哉と申します。

新座市大和田で株式会社隣家「デイサービス隣家」を運営して 13 年、介護老人保健施設やケアマネージャー、デイサービスでの経験と合わせ、介護の仕事に 27 年間関わってきました。

8 年前…隣家をご利用されていた認知症の方が、地域住民の方から誤解を受ける出来事があり「新座市から出ていってくれ」と言われてしまったことをきっかけに、学生世代や地域住民、企業の方々に向けて、認知症への理解を深める活動を行っています。

今回、理事という立場をいただき、これまでの経験を活かして、みなさんと力を合わせながら明るくあたたかい地域づくりに関わっていけたら嬉しいです。特に介護事業ではお互いの事業特性を活かしつつ、相互フォローしながら、